



数字を使ってロジカルに仕事を進める人材へ！

明日から使える実務データ分析講座

カルロスゴーンはじめ、外国人役員に数々の企画、提案をうなずかせた秘訣を伝授！

研修目的

- (1) データの読み方や視点を知り、自らデータに着手できるようになる
- (2) データ情報を効果的に駆使し、説得力ある結論を導く力がつく
- (3) データ分析のやり方だけでなく、「仕事への活かし方」を身につける

日時 平成28年 **7月28日(木)**
9:30~16:30

講師 データ&ストーリーLLC 代表社員
柏木 吉基氏

会場 京都商工会議所(京都市中京区烏丸通夷川上ル)
※京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅南6番出口直結



大学卒業後日立製作所にて海外セールスエンジニア。米国MBA取得後2004年日産自動車に入社。海外部門やビジネス改革チームマネージャなどを経て2014年独立。「新規ビジネス策定」や「グローバル業務プロセス改善」など多数の改革プロジェクトをリード。著書『「それ、根拠あるの?」と言わせないデータ・統計分析ができる本』(日本実業出版社)など多数。

受講料 京都商工会議所会員 **19,440円**
一般 **29,160円**
※消費税込

1. データ分析・統計を実務で使うってどういうこと?

- (1) 専門家と一般実務家が使うデータ分析はどう違う?
- (2) 実務家に必要な統計知識とは何なのでしょう?

2. 「データ整理」から「データ分析」へ

- (1) 「データ整理」と「データ分析」は何が違う?
- (2) 「データ分析」をするには何が必要

3. 仮説アプローチ

【演習】

- (1) 仮説を持つことのメリットとリスクとは?
- (2) 仮説アプローチをうまくやるコツとは?

4. データ収集と比較の視点

「課題の場所」を特定するための視点とは?

5. データの特徴を把握する(大きさ)

【演習】

わかっているようでわかっていない平均の落とし穴とは?

6. データの特徴を把握する(バラつき)

【演習】

標準偏差って何? 標準偏差ってどう使えるの

7. 2つのデータから意味を見出す(相関)

【演習】

データを組み合わせ、その裏にある意味を引き出すには?

8. データの関係を数値で示す(回帰分析)

【演習】

分析の結果を計画や予測など具体的な数値に落とし込むには?

9. 仕事での分析は「分析結果」がゴールではない(結果解釈と見せ方)

エクセルインストール済みのパソコンをお持ち下さい

お申込み・お問合せ／京都商工会議所 会員部 人材開発センター (〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル)

1 FAXまたはwebサイトからお申込み下さい。
▶ FAX : 075-222-2612 TEL : 075-212-6446
e-mail : jinzai@kyo.or.jp
▶ 京商ビジネススクール で **検索** (URL : http://www.kyo.or.jp/jinzai/)

2 お申込み後、速やかに下記口座までお振込み下さい。
振込手数料はご負担頂きますようお願い致します。
▶ 京都銀行 本店営業部 (普) No.5017759
口座名 : 京都商工会議所 研修口

※開催日の1週間前に受講証をFAX致します。なお、申込人数が少ない場合には開催を取りやめる事があります。

※開催日の5営業日前を過ぎてからの受講取消については受講料の返金をいたしかねますので、ご了承ください。ただし、代理出席は可能です。その際にはお早めにご連絡ください。

H28年7月28日 034 『明日から使える実務データ分析講座』 申込書

会社名	事業内容	TEL		
所在地		FAX		
受講料	円 × 名分	振込日	月 日 (振込・振込予定)	請求書 (○印) 要・不要
申込責任者	所属(役職)名	e-mail		
受講者名 (フリガナ)	所属部署名 (役職名)	e-mail	年齢	

本申込書にご記入いただいた個人情報は、本講座の実施・運営のために利用するほか、京都商工会議所に関する各種情報提供の目的にのみ使用致します。

★人材開発センターではオーダーメイド研修の実施、講師派遣も行っております。お気軽にお問合せ下さい★